

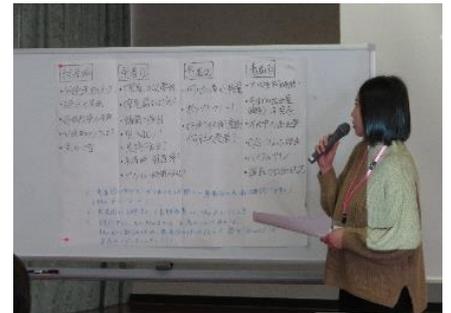


第7回 新人助産師研修

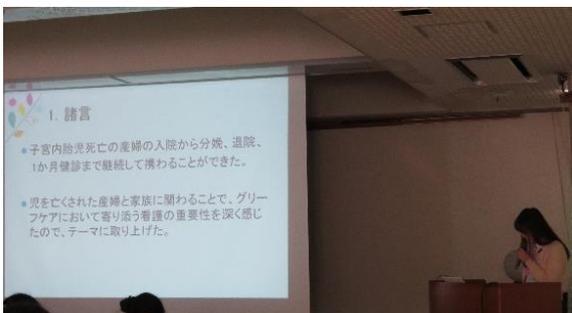


平成31年2月23日（土）、山口県看護研修会館において、第7回 新人助産師研修「事例検討会」「心に残った場面」の症例発表会、閉講式が開催されました。

「事例検討会」では、5つのグループに分かれ、①必要な情報が収集できる（起こっていることの、予測ができる）、②優先順位が考えられる、③声かけ、コミュニケーションをとることの大切さがわかる、という3点をねらいとし、新人として①情報として何を知っておかないといけないか、②優先順位はどうするか、についてグループワークをしました。各グループとも積極的な意見交換ができており、必要な情報収集や、限られたスタッフの中でコミュニケーションをとること、優先順位を考えて行動することの大切さについて学ぶことができました。



「心に残った場面」の症例発表会では、パワーポイントを使用し、1年間で経験した症例についての学びを発表しました。様々な視点からの発表があり、新人助産師同士で学びを共有することができたのではないのでしょうか。山口県立大学別科助産専攻 教授：浦山晶美先生より一人一人に対し好評をいただき、自分の行った看護について振り返る良い機会になったと思います。



閉講式では、西生敏代会長より「新人助産師として必要な研修を受けられました。みなさんの成長を楽しみにしています。これからも支えながら見守っていきたいと思いますので、安心して着実にキャリアアップを図ってください」とエールをいただきました。



委員一同、皆様のご活躍を期待しています。

平成31年度も様々な研修を企画しています。ご参加をお待ちしています。

平成31年3月 山口県看護協会 助産師職能委員